

花の里づくりの会

第14号会報 2018年4月1日発行



第六回記念樹《平成22年3月5日植樹》

サンシユユ 《学名：Cornus officinalis Sieb. et Zucc.》

界：植物界 門：被子植物門 綱：双子葉植物綱
目：フトモモ目 科：ミソハギ科 属：ザクロ属 種：ザクロ

- ・高さ3～15mになる落葉小高木。樹皮は薄茶色で、葉は互生し長さ4～10cmほどの楕円形で両面に毛がある。
- ・3月から5月にかけて、花弁が4枚ある鮮黄色の小花を木一面に集めてつける。
- ・サンシユユはヨーグルトの木の親戚にあたるため、温めた牛乳にサンシユユの枝を入れ、保温して一晩置くとヨーグルトができる。

ごあいさつ

会員の皆さま方には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

おかげ様で、私も満86歳、年齢なりの毎日を送っております。

日頃、私が働いている畑は、屋敷続きの急な坂道を登った場所にあります。

毎朝、万歩計を0にセットしてから一日を過ごし、夕方にはその日の歩数を手帳に記録しています。現在では一日平均2000歩程度ですが、時々、過去の記録を見返すことも楽しみの一つとなっております。

現在は、その山の畑で、花木、枝物、そして自家用の野菜を1反ほど耕作しておりますが、必ず毎日、畑に行って生育状況を確認し、その成長ぶりに元気をもらっています。

又、時には、さらに山道を登り丘陵公園まで足を延ばし、植栽した樹木を自分の目で確認し、年に2回追肥を行い、又、害虫や病気が見られるときには、早めに薬剤散布等の処置を施すよう心がけております。

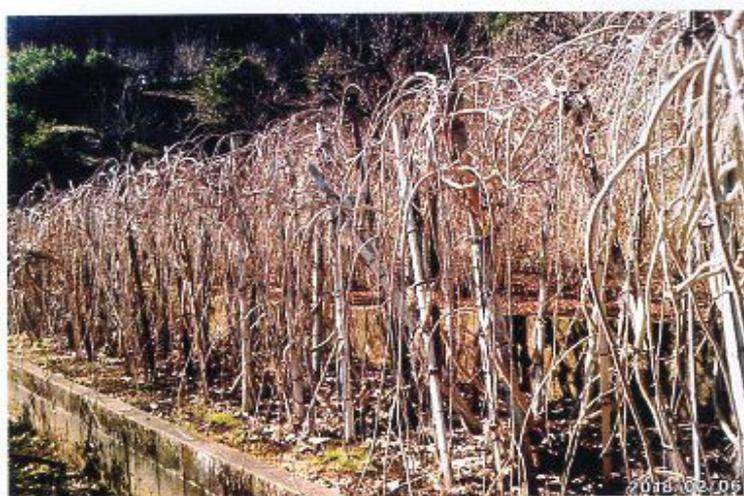
毎年2本ずつの記念樹が増えていく公園を、間近に見ることができ、このような作業ができる楽しみがあるというのも、家族はもとより、会員の皆さまや、近隣の方々のご支援、ご協力のおかげと、心より感謝しております。

これからも、より美しい花の里づくりのため、頑張っまいりますので、よろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

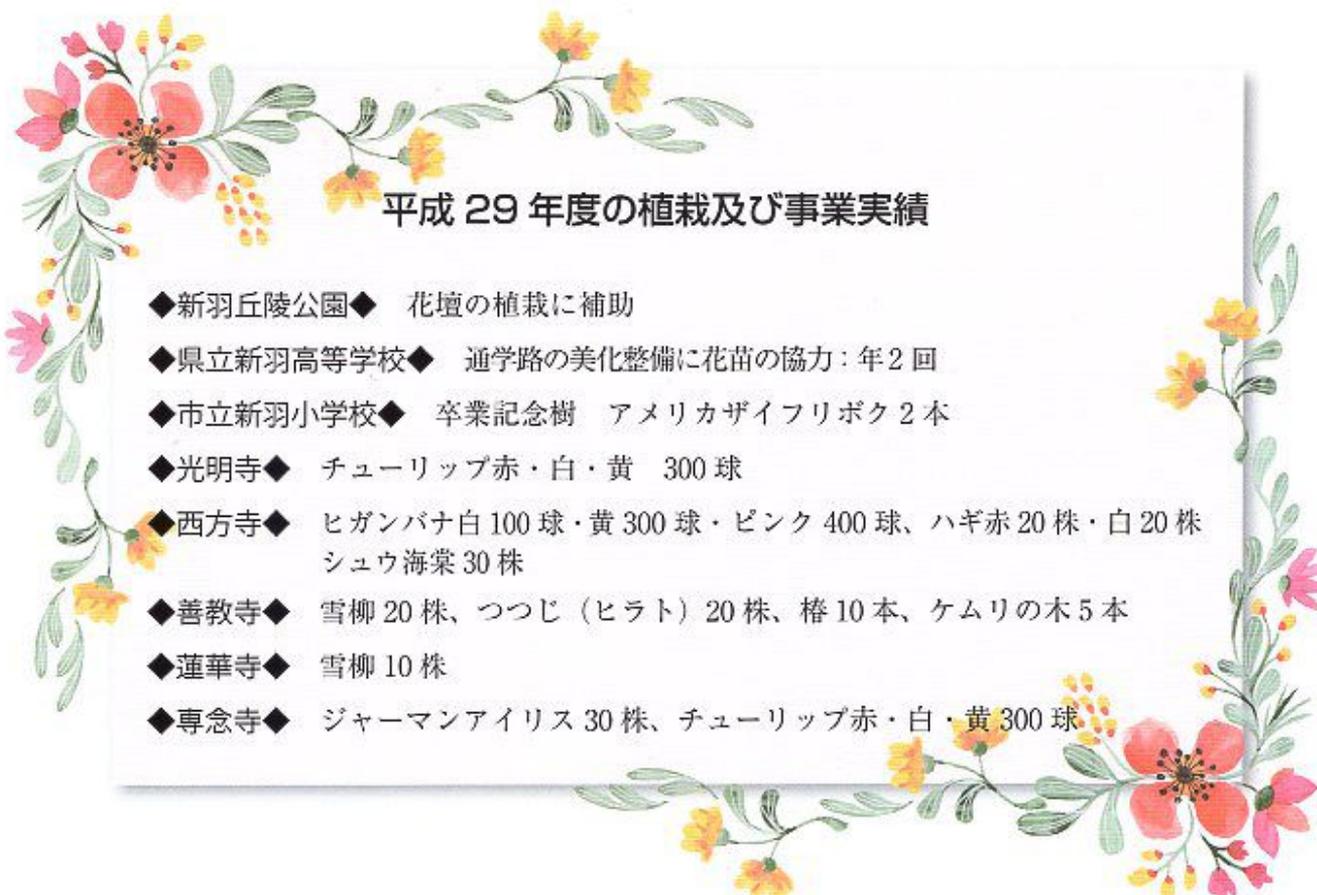
花の里づくりの会 会長 中山 宏



花市場に出荷する桃の花
平成30年2月15日撮影

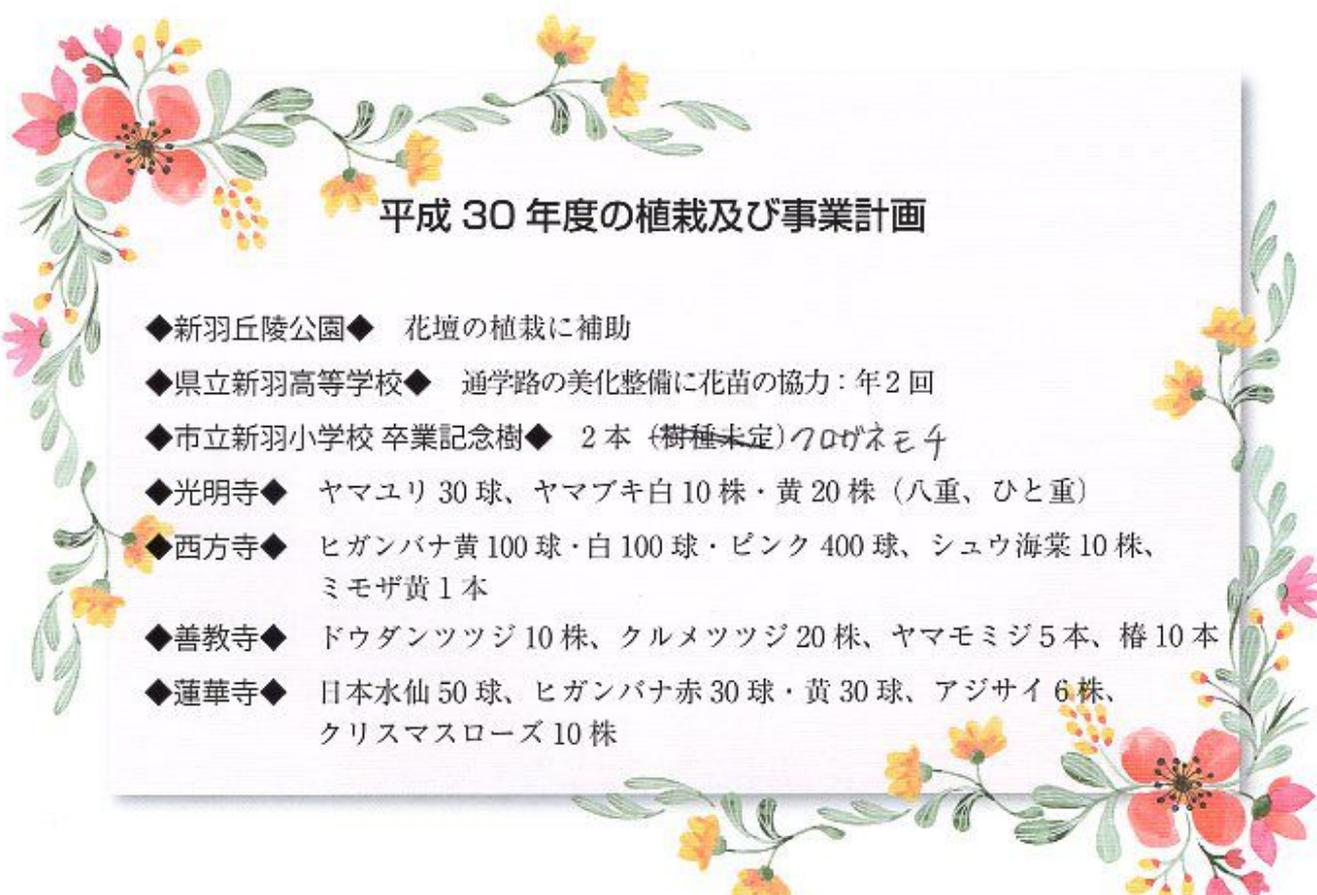


会長の農場（しだれ桑）
平成30年2月6日撮影



平成 29 年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆ 花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備に花苗の協力：年2回
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 アメリカザイフリボク2本
- ◆光明寺◆ チューリップ赤・白・黄 300球
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ白100球・黄300球・ピンク400球、ハギ赤20株・白20株
シュウ海棠30株
- ◆善教寺◆ 雪柳20株、つつじ（ヒラト）20株、椿10本、ケムリの木5本
- ◆蓮華寺◆ 雪柳10株
- ◆専念寺◆ ジャーマンアイリス30株、チューリップ赤・白・黄300球

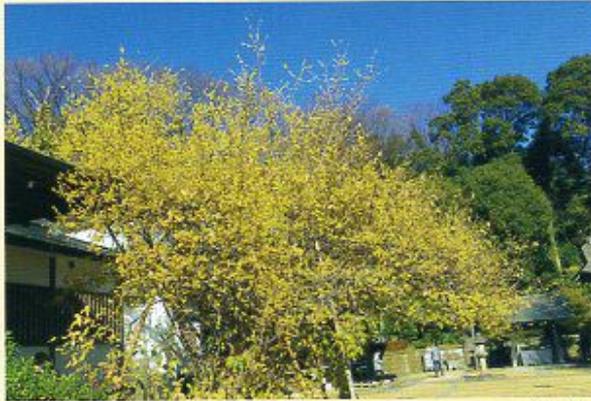


平成 30 年度の植栽及び事業計画

- ◆新羽丘陵公園◆ 花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備に花苗の協力：年2回
- ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 2本（樹種未定）クワガネモク
- ◆光明寺◆ ヤマユリ30球、ヤマブキ白10株・黄20株（八重、ひと重）
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ黄100球・白100球・ピンク400球、シュウ海棠10株、
ミモザ黄1本
- ◆善教寺◆ ドウダンツツジ10株、クルメツツジ20株、ヤマモミジ5本、椿10本
- ◆蓮華寺◆ 日本水仙50球、ヒガンバナ赤30球・黄30球、アジサイ6株、
クリスマスローズ10株

西方寺

横浜市港北区新羽町 2586番地
TEL (045) 531-2370



蠟梅



クリスマスローズ



アヤメ



彼岸花

50種類のツバキが、あります。11月～3月が見頃です。

白侘助



白侘助



紅妙蓮寺



姫侘助



式部



有楽



ジュリーパー



花獅子





光明寺

横浜市港北区新羽町3990番地

TEL (045) 591-0590



石楠花



西洋シャクヤク



石楠花



スイシカイドウ



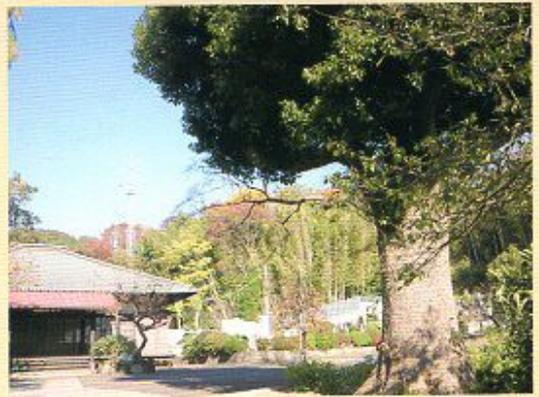
石楠花

蓮華寺

横浜市港北区新羽町3952番地



さくら



スイセン



レンギョウ



アジサイ



ヒマラヤユキノシタ



ツツジ



アガパンサス

専念寺

横浜市港北区新羽町1578番地

TEL (045) 531-1518



しだれ桃



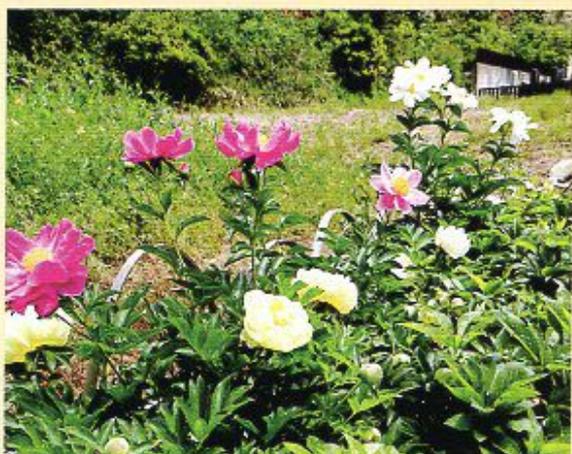
クリスマスローズ



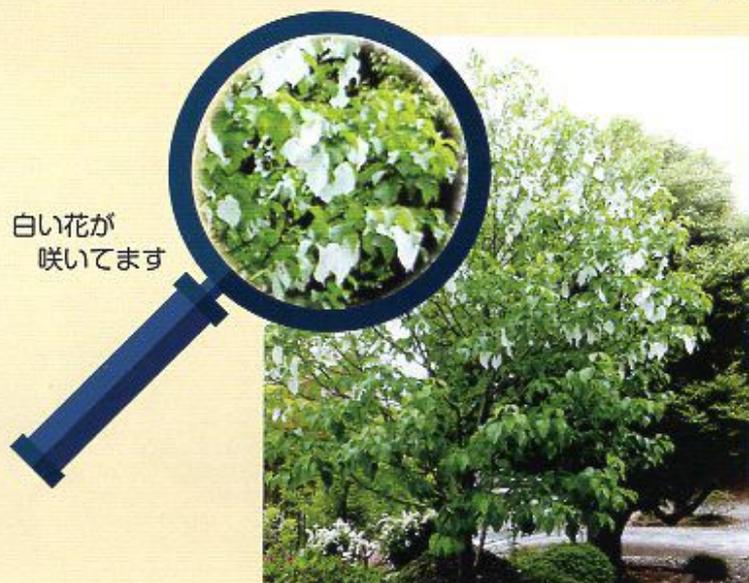
しだれ桜



スイセンと紅梅



シクヤク



白い花が
咲いてます

ハンカチの木

善教寺

横浜市港北区新羽町2396番地
TEL (045) 531-5050



フジ



ツワブキ



チャワンバス



ハクウンボク



ユキヤナギ

新羽丘陵公園での
卒業記念植樹



No. _____

四十一人で思いをこめて
天野 美緒

私は、ジュンペリーの木を植えた。中学生
や高校生になっても、見に行こうと思
大人になつてから、植樹をした場所に四十
人が集まることは難しい。でも、思いをこめ
て植えた木には、四十一人のそれぞれ
も入っている。四季に合った顔を見せてくれ
るのが、楽しめた。四十一人でジュンペリー
の木を、見守り続けたい。

No. _____

「私のあこがれの木」
大角 夏菜実

私達が今回、植樹した木「ジュンペリー」
は季節ごとに見せる顔が違うらしい。五月に
は白い花が咲き、六月には実がなる。秋には
紅葉して色づく。私はそれを聞いて、ジュン
ペリーが人だったら感情豊かな子なんだろう
なと思つた。四季にあつた顔をして、見る人
を知らせているジュンペリー。私もジュンペ
リーのようになりたい人をも笑顔にしたいと思

新羽丘陵公園での
卒業記念植樹



No. _____

思い出の公園

助川 結衣

私の思い出は、新羽丘陵公園に植樹をしたときです。友達と遊びに行き、放課後、友達と遊んで、学校で来たこと、公園に、私たちが新羽小学校を卒業したという記録を残すことができ、良かったと思、います。手伝ってくださった方にも感謝します。私は、自分たちが植えたジュンペリシをいろいろな季節に見て木と一緒に成長したいです。

No. _____

木と共に成長する私

吉永 心結

私の公園との思い出は、学校で来たこと、放課後、友達と遊びに行き、たことです。そんな公園に、私たちが新羽小学校を卒業したという記録を残すことができ、良かったと思、います。手伝ってくださった方にも感謝します。私は、自分たちが植えたジュンペリシをいろいろな季節に見て木と一緒に成長したいです。



集 う

新羽小学校長 三枝 秀明

今年度も6年生が花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会をはじめとした皆様のお力添えにより、記念植樹をさせていただくことに深く感謝いたします。今回は、アメリカザイフリボクを植えさせていただきました。早春の白い花、初夏の実、秋の紅葉、美しい樹形と一年中楽しめる植物です。6月に実をつけることからジューンベリーとも呼ばれています。

かつては卒業を記念して植樹や制作を行っていました。しかし近年は、枝内のスペースが有限なため、行えなくなっています。在校の証が残せないことは何とも虚しいことです。

新羽丘陵公園に記念植樹をさせていただいたことは、自分たちが在校していた証を残すことであり、また再会を約束することでもあります。

四季を通じて楽しめるアメリカザイフリボクの下に「今年は実のなるときに集まろう」「来年は花が咲くときに会おう」と集うことができたら素敵です。

このような機会と場所を提供して下さったことに感謝いたします。今後ともアメリカザイフリボクと共に卒業生の成長を見守ってくださることをお願いいたします。





新羽小学校PTA会長 大谷正元

新羽丘陵公園に今年で13回目を迎える新羽小学校卒業記念植樹が去る3月1日に行われました。

本年度は、アメリカザイフリボク（英名：ジューンベリー）を「花の里づくりの会」、「新羽丘陵公園愛護会」そして関係各所皆様のご協力を賜り植樹致しました。

このアメリカザイフリボクは、春に白く可愛らしい花を咲かせ6月（June）頃に赤い果実が収穫期を迎える事から英名をジューンベリーと名付けられたとあります。また、花言葉に「穏やかな笑顔」「穏やかな表情」なのだそうです。当に、植樹した子供たちはこの花言葉のように心乱す事なく自然に身を委ねて心穏やかに日々を過ごせる事を願っております。

結びに、PTAを代表して「花の里づくりの会」、「新羽丘陵公園愛護会」そして関係各所皆様には、感謝、御礼申し上げます。間違いなく子供達の思い出と成る事と存じます。誠にありがとうございました。

県立新羽高等学校の通学路緑化整備

新羽高等学校 副校長 井上由一

本年度も、本校の環境整備委員会の生徒たちが中心となり、新羽高校敷地内の大竹・亀の甲橋側の入り口にある三角地帯や正面のロータリー及び正門脇の通学路の緑化整備を4月26日（全学年）、11月14日（3年生）・15日（1・2年生）に行うことができました。これも「花の里づくりの会」より、ご支援をいただいたおかげと感謝しております。

生徒たちは、軍手をはめ、シャベル、ビニール袋、腐葉土、ジョーロを持ち、正門坂下の三角コーナーのプランターの整備、正門前やロータリー周辺のプランター整備、昇降口前の花壇とプランターの整備を行いました。

マリーゴールド、ペコニア、日々草、ペチュニア、サンビタリアビノ等の花が、登下校する生徒や地域住民の方々笑顔で楽しんでいただければ、たいへん嬉しく思います。

生徒が生き生きとした表情で緑化整備への取組をしている姿を見たり、時々、地域の方が正門付近のプランターの雑草を取ってくれたりするのを見るにつけ、改めて「花の里づくりの会」の皆様が推進されている緑化活動が本校の情操教育の一環を担っていることをひしひしと感じました。

今後とも、本校では緑化整備への取組を続けていくとともに、緑化整備への支援と併せて本校の教育活動につきましても、より一層のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



ご挨拶

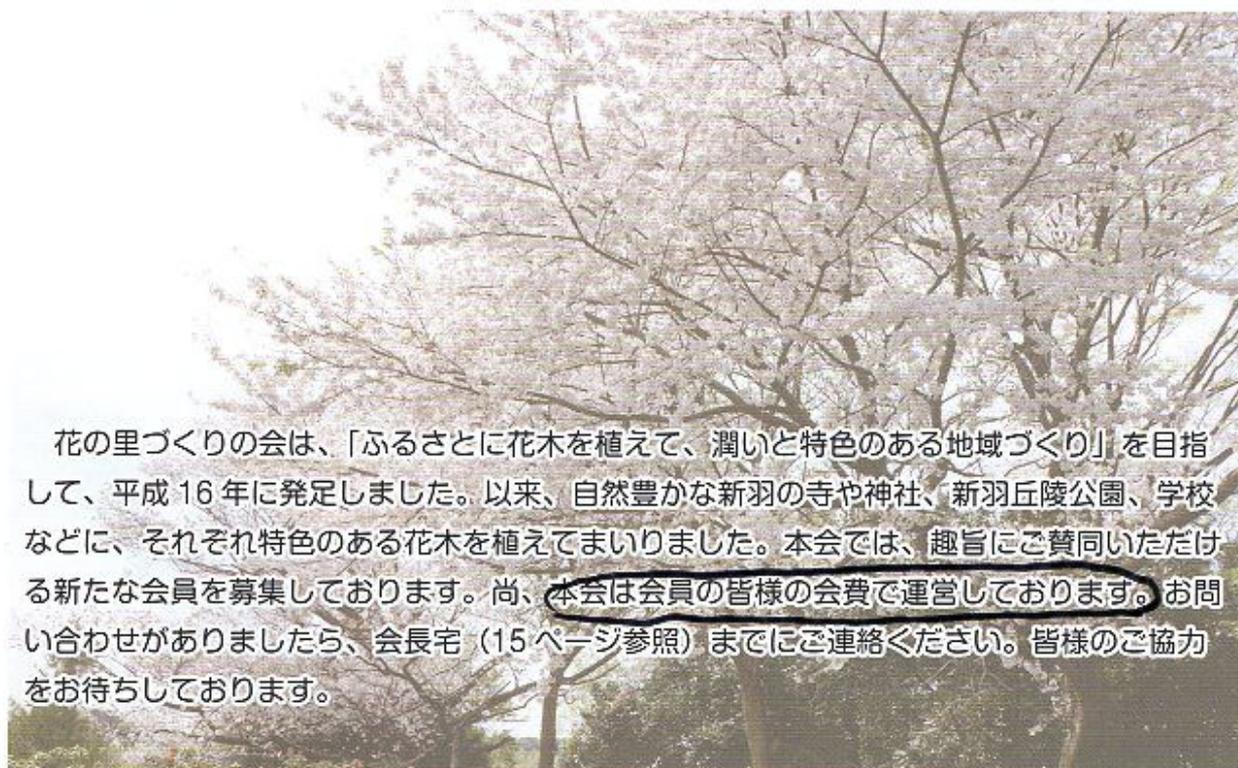
顧問 光明寺 植野法稔

花の里づくりの会員の皆様には、長きにわたって活動頂き、また、ご協力を頂きありがとうございます。

新羽の地は、丘陵が南に向かって細長く伸び、山林や原には、様々な植物や花が自生していた横浜の中でも自然豊かな地域です。この美しい新羽を生かした町づくりを広げようという目標をもって設立された花の里づくりの会に準備の段階より参加させていただき、以来十数年となりました。

おかげ株で、光明寺では、新春は水仙に始まり、梅、沈丁花、カルミヤ、桜、山吹、シヤクナグ、シヤクヤク、エビネ。夏はサルスベリ、秋は萩、酔芙蓉、椿などなど。一年を通じて、少しずつですが、花を愛でることができるようになり、ご参拝の皆様だけでなく、近年は、ウォーキング団体の方々や散策の方々も多数おいでいただき、花を觀賞できるようになりました。また、昨年からは港北オープンガーデンに参加しています。更に多くの方々に花の里づくりの会の活動を知っていただければと思っています。

新羽には、2つの神社と5つの寺院があります。一つの町の中にこれだけの社寺があるのは珍しいことだそうです。学校や公園も含めて、皆で連携を深めて、協力しながら、新羽の発展と花の里づくりに協力していくように努力していければと思います。今後とも宜しくお願いいたします。



花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、**本会は会員の皆様の会費で運営しております。**お問い合わせがありましたら、会長宅（15ページ参照）までにご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

花の里づくりの会 会報第14号 2018年4月発行
発行者/花の里づくりの会 会長 中山 宏
お問合せ先/事務局 中山 宏宅 TEL045-541-5578
印刷/有限会社 田丸文林堂

